

NEWS RELEASE【書籍のご案内】



8000社以上の企業を調査してきた著者だから分かる“永続する企業”の作り方

経営者のノート

会社の「あり方」と「やり方」を定める100の指針

2020年6月19日刊行

株式会社あさ出版(代表取締役:佐藤和夫、所在地:東京都豊島区)は、坂本 光司 著『経営者のノート 会社の「あり方」と「やり方」を定める100の指針』を2020年6月19日(金)に刊行いたします。

景気に左右されない強い経営をつくる

8000社以上の企業を調査してきた経営学者の坂本光司氏が、50年の企業訪問と研究をもとに、永続する企業になるための“100の指針”をご紹介しています。

新型コロナウイルスの流行が、雇用にも影響を及ぼし始めリストラを行う企業が出始めました。本書で、著者は“リストラはやがて企業を滅ぼす”と警鐘しています。「企業が、今なすべきことは何なのか」本書の中で説いていきます。経営者のみならず、すべての働く人にお読みいただきたい一冊です。

<永続する企業の100の指針 例>

- すべての活動の要かなめは、目的、手段、そして結果の3つである。
最も重要かつ大切なものは、目的である。このことを経営者はひと時も忘れてはならない。
- 業績を大切にする経営と、人を大切にする経営は、方向が真逆である。
- 社長は、社長という仕事をする社員のことをいい、社員は、社員という仕事をする社員のことをいう。
- 最終ランナーである経営者はいない。経営者はすべて中継ぎランナーである。

書籍名:経営者のノート 会社の「あり方」と「やり方」を定める100の指針

刊行日 :2020年6月19日(金) 価格 :1,400円(税別)
 著者 :坂本 光司 著 ページ数:224ページ
 ISBN :978-4-86667-214-4



著者プロフィール 坂本 光司(さかもと・こうじ)



1947年、静岡県(焼津市)生まれ。経営学者。静岡文化芸術大学教授や法政大学大学院教授などを歴任。現在は、人を大切にする経営学会会長、千葉商科大学大学院商学研究科中小企業人本経営(EMBA)プログラム長、日本でいちばん大切にしたい会社大賞審査委員長、他公職多数。徹底した現場派研究者であり、この50年間で訪問調査・アドバイスをした企業は8000社以上となる。専門は中小企業経営論・地域経済論・福祉産業論。

著書である『日本でいちばん大切にしたい会社(1~7)』(あさ出版)は、シリーズ累計部数70万部を突破。『人を大切にする経営学講義』(PHP研究所)など多数の著書がある。

書評・著者インタビュー・掲載企業取材等のご検討をいただければ幸いです。情報掲載、画像提供の問い合わせ

PR担当 古垣(フルガキ)TEL:03-3983-3225 090-4424-6911 furugaki@asa21.com

株式会社あさ出版 東京都豊島区南池袋2-9-9 第一池袋ホワイトビル6階